

## 民間市場の形成

安価で良質な公共サービスを提供できる民間事業者の育成・環境の整備、自主的な取組み

どの部分を、どのように民間に委託するのが最適か  
仕様書・契約書の精査  
個人情報の保護  
報酬の計算方法  
困難事案のみの委託の是非

### 現状・課題

- 公金債権回収の担い手の不足
- 公金債権回収の知識経験、ノウハウ
- 公金債権回収にあたって必要とされる福祉的配慮・知見
- 報酬の計算方法

民間事業者  
弁護士、認定司法書士、  
サービサー等

### PDCA

以下の観点(例)からの最適化を目指す  
コスト  
回収額  
回収不能債権の処理額  
(放棄、免除等)  
独力による生活再建困難者の  
発見・救済

民間の専門性や創意工夫を最大限発揮

### 現状・課題

- ノウハウの蓄積が困難
- 本業で手一杯
- 定員削減
- 専門性が高い、等
- 回収に追われ、本業に専念できない
- 民間事業者にどのような依頼ができるのかが不明
- どのような民間委託が最も合理的かが不明

地方公共団体

債権回収(直営)

多額の滞納

公共サービスの受益者  
(住民、企業等)

### 現状・課題

債権回収結果への不公平感  
独力による生活再建困難者を発見し適切な措置につなげる必要

市場化テストの活用も視野に、民間の能力を活用した良好な民間市場の形成に向け、民間委託を試行し、調査検討を行う。

- 以下の観点から、個人情報の保護に留意しながら仕様書及び契約書等の精査を行う。
- 適正な債権回収の実現
- 管理コストの低下
- 福祉的観点からの配慮

民間の創意工夫を最大限発揮できるようなモデルの提案を目指す。

